

# 令和4年度（令和5年度実施）事務事業評価表

事業整理番号 0102 - 02

事務事業名	SDGs未来都市推進事業	担当組織	政策経営部	SDGs未来都市推進課
-------	--------------	------	-------	-------------

事業特性											
事業を構成する予算事業	事業開始年度	3年度	事業終了年度		計画／一般	計画	計画事業No.	1-	1-	1-	2
	単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託	関連するSDGsのゴール		11	4	8	9	10
① SDGs未来都市推進事業経費					②						

政策体系（令和4年度基本計画）			
地域づくりの方向	あらゆる主体が参画しながらまちづくりを実現していくまち	政策	地域力の向上に向けた参画と協働の推進
施策	地域における区民参画・協働の推進	政策番号	1-1-1
関連する個別計画		計画策定年度	
		計画期間	

## 1. 事業の概要・指標の達成状況

(1)実施の対象（具体的に記載）	区民、区内外企業等
(2)事業の目的・期待する効果	SDGsを切り口に持続発展する好循環を生み出し、まちに住む・働くなどすべての人のまちへの誇りと愛着を醸成する。
(3)事業概要	持続発展都市に向けた取組みを実施するため、国連サミットにより採択された2030年を年限とする国際目標SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)の理念を踏まえ、豊島区ならではのSDGs未来都市推進事業を行う。

(4) 目標の達成状況	4年度の取組内容 4年度に実施した具体的な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGs特設ホームページの運営</li> <li>「ファーマーズマーケット」SDGsブースの出演</li> <li>WaraiMiraiフェスでのSDGsブース出演</li> <li>豊島区SDGsアイデアコンテスト/豊島区こども未来国連会議の開催</li> <li>としまMONOづくりメッセでのSDGsブースの出演</li> <li>90周年事業と連携したSDGsの発信(SDGs特設ホームページの改修)</li> <li>出前講座・講演の実施</li> </ul>						
	成果指標 事業目標の達成度	成果指標	目指す方向性	単位	3年度(実績)	4年度(計画)	4年度(実績)	5年度(計画値)
	① SDGs認知度	↗	%	53.3	75	68.8	91.7%	75
	② SDGs特設ホームページ『としまSDGsアクション』閲覧数	↗	回		50,000	77,473	154.9%	50,000
指標の説明	①「協働のまちづくりに関する区民意識調査」設問「SDGsについて知っていますか」に「知っている」と答えた割合 ②SDGs特設ホームページ『としまSDGsアクション』の閲覧回数							
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	R4年度計画値は、R3年度実績にR2～3年度の伸び率をかけて算出したやや高め目標値である。R4年度はその目標値には届かなかったものの、各種取組(SDGs特設ホームページ記事掲載数・ファーマーズマーケットブース出演数)においては計画を大きく上回る結果となっている。					

(5) 取組実績	活動指標 事業の実施状況	活動指標	目指す方向性	単位	3年度(実績)	4年度(計画)	4年度(実績)	5年度(計画値)
	① SDGs特設ホームページ『としまSDGsアクション』記事紹介数	↗	件	20	36	54	150.0%	28
	② ファーマーズマーケットへのSDGsブース出演	↗	回	4	50	75	150.0%	70
	③							
指標の説明	①SDGsに積極的に取り組む方へ取材を行い、SDGs特設ホームページ『としまSDGsアクション』にて紹介する記事数。 ②生活産業課が所管しているファーマーズマーケットにてSDGsを紹介するブースの出演回数							
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由						

## 2. 事業費の推移

単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	3年度		4年度			5年度		
	予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R4決算比)	
事業費	A	20,000	14,540	15,238	15,236	100.0%	15,621	385
人件費	【正規(人数)】	—	(2.00)	—	(2.00)		(2.00)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	—	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—
	人件費 B	B	—	17,000	—	17,000		17,000
事業費(人件費含む)	C=A+B	—	31,540	—	32,236		32,621	385
財源内訳	国、都支出金		0	0	0	2,200	3,500	1,300
	使用料・手数料	D	0	0	0	0	0	0
	地方債・その他		0	0	0	0	0	0
一般財源	E=C-D	—	31,540	—	30,036		29,121	-915

### 3. 総合評価及びR5年度以降に向けての対応・改善策

**【指標の達成状況(a)】**  
→S、A、B、C、Dの5段階で評価 **B** 根拠 「協働のまちづくりに関する区民意識調査」において、認知度が計画値の75%に届いていないため

※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。  
※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。

(1)令和4年度成果と課題

①目標に対する成果状況を踏まえた課題  
特設ホームページSDGsアクション等で人に焦点を当てたSDGsの取組みを紹介。引き続き区役所の各部局や企業と連携したSDGsの推進を検討していく。

②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果)  
SDGsを切り口に企業と連携した事業の展開が進んでいる。

**【業務(事務)改善に向けての取組み(b)】**  
S、A、B、Cの4段階で評価 → **A** 根拠 行政だけでなく企業と連携した事業の推進を検討している。

※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。  
※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。

(2)業務(事務)改善に向けての取組み

①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲)  
特設ホームページSDGsアクション等で人に焦点を当てたSDGsの取組みを紹介。引き続き区役所の各部局や企業と連携したSDGsの推進を検討していく。

②現状の実施状況における所管課の認識

事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	SDGsの推進は世界的な目標であるため
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択の理由	企業と連携した事業の推進を検討している。
サービスに係るコストは適正か	適正	選択の理由	コスト意識を持ちながら予算を設定しているため
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	有	(有の場合)事業名	「豊島区子ども未来国連会議」と「としま子ども会議」

③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況

対応、改善を既にを行った	いいえ	はい	取組内容及び効果	予算措置
対応・改善予定(上記ではいの場合には更なる)	有	無	対応、改善の予定がない理由	
選択肢に関わらず	有	有	企業連携プラットフォーム「チームとしま」と連携した事業の推進	予定時期 R6年4月～
	有	有	予算措置を伴わない実施との比較検討	実施 予算措置を伴う理由 企業プラットフォーム運営に経費がかかるため

**【区が実施する必要性(c)】**  
S、A、B、Cの4段階で評価 → **S** 根拠 SDGsを推進して多様な区民らが豊島区に誇りや愛着を抱くまちにすることがミッションのため。

※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。  
※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。

(3)必要性/優先度

①区が実施する理由(複数選択可)

<input type="radio"/> 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	法律の要請を受けて行う事業である。
<input type="checkbox"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。	その他(理由)

②区民ニーズ

区民ニーズを表す指標	無	有	指標番号(活動)	指標番号(成果)	サービス利用者数
	「有」「無」		推移	推移	
	ともに記入				
区民ニーズに対する認識	持続可能な住みやすいまちづくりをしていくことは区民にとっても重要な視点であると認識している。				

総合評価(d=a+b+c) **ランク1**

#### 4. R5年6月末時点の状況

①令和5年度当初の課題・ニーズ	<p>【現状】 企業のSDGs推進活動のために90周年企業実行委員会を通じ、SDGsセミナーの開催、企業のSDGs宣言を行った。 ・基本計画に基づいたSDGsの進捗管理について、基本計画で各部署の事業を17のゴールに結びつけた。</p> <p>【課題】 ・企業の継続したSDGs活動の支援 ・基本計画に基づいたSDGsの進捗管理について、各部署で何をすべきか未整理であり、進捗管理が未実施である。</p>
②国・都の動き（関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など）	<p>国（内閣府）においてもSDGs未来都市認定を行うなどしてSDGsの取組み推進を広く進めている。 （令和5年度現在 SDGs未来都市183自治体）</p>
③令和5年度の方向性・取組方針（事業展開）	<p>①SDGsアドバイザーである蟹江憲史氏の主催する「慶應SFC 研究所 xSDGコンソーシアム」と連携した事業の推進。 ②企業連携プラットフォーム「チームとしま」と連携したSDGsの更なる推進。 ③SDGsの見える化による課題整理 ④対応策の検討 ⑤SDGs取組み診断システムを活用した進捗管理</p>
④令和5年度の事業進捗状況（6月末時点）	<p>・SDGsコンソーシアム参加 ・企業連携プラットフォーム「チームとしま」の開催 ・基本計画とSDGs取組み診断システムとの紐づけ ・各課へのヒアリング</p>
⑤区民等からの事業に対する意見・要望	<p>出前講座などを実施した際に区民より、「SDGsを推進することは大事なことだと認識しているが、何をしたら良いかわからない。」とご意見をいただくことが多い。</p>
⑥上記⑤に対する対応	<p>出前講座などを実施し、SDGsの取組みをわかりやすく説明などしている。</p>

今後の事業費予算要望(e)	増額	根拠	企業連携プラットフォーム「チームとしま」と連携した事業を推進する必要があるため
---------------	----	----	---

今後の事業の方向性(d+e) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	S:拡充
---	------

#### 《上記判断を踏まえた所管課の認識・R5年度以降に向けての対応》

令和6年度以降、SDGs未来都市推進事業に、「わたしらしく、暮らせるまち。」推進事業を統合していく予定。教育委員会や子ども家庭部と連携した子ども未来国連会議など、組織の在り方を整理したうえで、予算措置を検討する。